

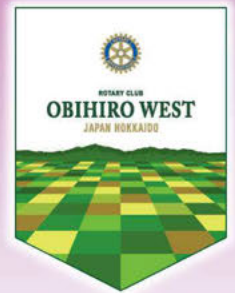


# 帯広西ロータリークラブ

## 第2401回例会

### 2022.9.15

# 会報



■RI第2500地区スローガン■

ともに紡ごう！  
ロータリーの未来へ

■クラブ・テーマ■

新たな半世紀に向かって…RESTART

### 会長報告

奥 敏則 会長

皆さんこんにちは。会長報告をさせていただきます。

先日の家族野遊会、参加いただきました会員・家族の皆さん、千葉委員長を始めとする親睦委員会の皆さん、料理を作っていただきました柳沢会員・菊地会員、PAを担当していただきました藤本会員、皆さん誠にありがとうございました。コロナ禍で久しぶりに、太陽の下でゆっくりとした時間を過ごせたような気がいたします。これから迎える地区大会や周年のあわただしい前の安らぎの時間としては、大変良かったと思っています。

さて、ロータリーには、ロータリアン一人一人がロータリーの活動に参加するよう強調するために、国際ロータリーの理事会が指定した強調月間というものがあります。例えば、8月であれば、「会員増強・新クラブ結成推進月間」であったり、11月であれば「ロータリー財団月間」のように。しかしながら、日本独自の月間テーマが設定されている場合もあります。10月には日本にしかない米山記念奨学会の「米山月間」と、今月9月の「ロータリーの友月間」の2つです。こういった強調月間に合わせて、西ロータリークラブの例会もおおむねスケジュールを組んでいます。ということで、今日は、何度か例会で取り上げられたこともありますし、すでにご承知のことばかりになってしまうかとは思いますが、その「ロータリーの友」についてお話をしたいと思えます。ロータリアンの3大義務と言え、1会費の納入、2例会への出席、3ロータリーの友の購読です。義務のため、ロータリーの友の冊子費は、会費と一緒に収めていただいております。1冊いくらかであるかご承知でしょうか？実は、今年度から、本体価格が値上がりし、220円から250円になりました。税込みだと275円になります。年間3,300円を払っていることになります。正直言って、今まではさっと目を通す程度でしたが、会長になってからは、ロータリーを知る上での貴重な情報源ともなりますので、少し読み込むようにしています。

日本では、1953年に日本の地区が東日本と西日本の2地区に分割されたことを契機に発刊されました。



分割されても、緊密に連絡を取り合い、情報を共有するための機関誌として企画されたものです。その後、1980年にRI公式地域雑誌となりました。「ロータリーの友」は、右開きの表紙と左開きの表紙が1冊に存在しており、左開きは横書きの文章で、世界のロータリアンに向けた内容の記事を日本語に訳されたものが掲載されており、右開きの縦書きの文章は日本国内のロータリークラブに関連した記事が記載されています。また、「ロータリーの友」を運営するために「ロータリーの友委員会」が構成され、ガバナーを輩出すると地区代表委員も同時に必要な方々を輩出するので、小谷ガバナーの時は会員の誰かが地区代表委員として出向しなければなりません。かつて、柴田ガバナーを輩出した時は、川田会員が「ロータリーの友委員会」に出向しておりましたが、2500地区からの寄稿投稿がほとんど無いため、川田会員がいろんなところで寄稿投稿をお願いされていたことを思い出します。

かつて西ロータリークラブのチャーターメンバーであった故 宮野さんにお話を伺った時も、会員が競い合って「ロータリーの友」に投稿したり、「ロータリーの友」を参考書にして例会をしたり、勉強会もしていたそうです。私が入会した頃の頃は、宮野さんが俳句をたしなんでおられたので、俳壇のコーナーでよく掲載されているのを見た覚えがあります。「ロータリーの友」の購読は義務ですので、必ず目を通してください。参考になることがいっぱい書かれています。以上会長報告を終わります。

### 会務報告

森 房明 幹事

①帯広RC、家族野遊会開催のご案内

日時 9月18日(日)午前10時

場所 フェーリエンドルフ

※尚、9月14日(水)の繰下げ例会と致します。

②帯広南RC、9月19日(月)の例会は、祝日のため休業と致します。

帯広北RC、9月23日(金)の例会は、祝日のため休業と致します。



会長 奥 敏則 副会長 高田 晃一 会場監督理事 長平 圭太 発行：広報委員会 (副)板倉 利幸  
幹事 森 房明 副会長 河西 智子 プログラム委員理事 菊池 俊博 委員長 河合 敏 (副)所 輝泉



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)  
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033



帯広RC、9月28日(水)の例会は、休会と致します。

③帯広西RC、夜間例会開催のご案内(米寿・喜寿・古稀・還暦お祝い)

日時 9月29日(木)午後6時30分

場所 北海道ホテル

※尚、アルコールがでますので、飲まれる方は運転をお控えください。

④RI第2500地区大会(旭川)開催のご案内

日程 10月8日(土)～10月9日(日)

場所 旭川市民文化会館 他

《大会1日目(8日(土))》

記念親睦ゴルフ大会 8:00～  
大雪山カントリークラブ

会員研修セミナー(3年未満・女性会員)

13:00～

アートホテル旭川

《大会2日目(9日(日))》

登録受付 9:00～

旭川市民文化会館

本会議(午前の部) 10:00～12:00

〃

本会議(午後の部) 13:00～16:20

〃

大会記念大懇親会 17:30～19:00

アートホテル旭川他

※登録料:14,000円

記念親睦ゴルフ:5,000円

会員研修セミナー:3,000円

## 委員会報告

### 出席委員会

藤本出席委員長より出席報告がありました。

### 健康増進委員会

辻田健康増進委員長よりアンケート記入のお願いがありました。

## ニコニコ献金

佐藤 聡 親睦活動委員

### 奥 敏則 会長

先日の家族野遊会に出席頂きました会員家族の皆さん、千葉委員長をはじめ親睦活動委員会の皆様、菊池会員、柳沢会員、藤本会員もありがとうございました。



### 熊切 宏樹 社会奉仕委員長

本日、社会奉仕委員会の担当例会です。よろしくお願いいたします。

### 古田 敦則 会員

本日、得意のパソコンを使っただけの卓話です。静かに聞いてください。

### 千葉 清秀 親睦活動委員長

先日の家族野遊会、大勢の参加をありがとうございました。

### 菊地竜太郎 会員

先日の家族野遊会、大変お疲れ様でした。スープカレーも食べてもらい皆様の笑顔が見られました。ありがとうございました。

### 藤本 剛 出席委員長

先日の野遊会、親睦活動委員会の皆様、お疲れ様でした。スピーカーレンタルをさせていただきましてありがとうございました。

### 柳沢 一元 会員

先日の野遊会で久々、青空の下で炭火焼きを焼きました。炭加減の調整が難しかったです。ありがとうございました。

### 近藤 誠勝 会員

喪に服している為しばらくお休みさせていただきます。ご会葬を頂きまして誠にありがとうございました。

### 佐藤 聡 会員

本日、ニコニコ発表させていただきます。家族野遊会でピンゴ担当でしたが年寄りはお出なくて良いと松田会員に言われました。

ニコニコ  
献金

9月15日

26,000円

累計

231,000円 (9月15日現在)

## ◆プログラム

熊切 宏樹 社会奉仕委員長

# 「社会奉仕委員会の今年度の取り組み」



皆様、こんにちは！社会奉仕委員会委員長の熊切です。よろしくお願いいたします。

今日は社会奉仕委員会担当の1回目の例会ということで、今年度の社会奉仕委員会の活動する計画を発表したいと思います。奥会長は今年度の会長方針で「今年度、我がクラブが更なる半世紀を迎えるにあたり、ロータリーを取り巻く環境は、これまでの半世紀とは大きく変わってきましたが、ロータリーの両輪である「奉仕と親睦」を実践し続けることはもちろん、過去の50年を顧みながら、これからの帯広西ロータリークラブやロータリーを考える年(restart)と掲げました。そして重点目標の中にも「奉仕事業、活動への積極参加」が盛り込まれております。昨年度は西藤社会奉仕委員会で過去の50年の社会奉仕活動について学ばせて頂きました。そして50周年記念事業では「明日への架け橋 3つの約束」と題して、帯広動物園へのペニコンゴウインコとマニマルベンチの寄贈、「思いは招く」植松努社長の講演とロケット教室、帯広図書館への電子書籍と一般書籍の進呈と素晴らしい社会奉仕活動を実践しました。奥年度が始まる前のクラブ協議会の中では奥会長から帯広西ロータリークラブは親睦に関しては、会員も増加しているし、出席率も他のクラブに比べて非常に高いのでとても高い評価を受けていると言われておりました。そしてまだまだ「伸びしろ」があるのが奉仕の部分だとも言われました。

今年度、社会奉仕委員会は過去の50年、そして50周年記念事業を踏まえて、これからの50年を西ロータリーが更に飛躍していくような社会奉仕活動を実践する1年にしたいと考えております。それでは、社会奉仕委員会事業計画を古田会員より発表いたします。



## 古田 敦則 会員



皆さん、こんにちは。3月にちょっと私は病気になりまして、それまで社会奉仕担当理事・委員長を私にということで進めていたのですが森幹事と熊切君にお願いをして委員長を代わっていただきました。すっかり体力が回復しましたのであれは一体なんだったんだろうと今思います。義理がございましてきちんとはお話を進めさせていただきたいと思っております。去年、西藤委員長が50周年を迎えて過去の社会奉仕の総括と今後の展望ということで色々検証していただきました。その上に立って今年は奥会長が「リスタートするんだ!」と言うことを特に力を入れておっしゃっていますので、今までの活動の上に立ってもう一度自分たちの行動を見直してみようと言うのが、今年の社会奉仕委員会の大きなテーマであります。その事を念頭に今年は三つのアクティビティを中心に社会奉仕活動を行っていききたいと思います。

まず一つが、身近にできる社会奉仕活動です。これはみんなで全員が参加して社会奉仕活動をやろうよということで、使用済み切手の収集寄付活動を行いたいと思っております。活動としてはそんなに目新しい物ではないのですが、みそは全員が参加して全員のちょっとした意識によってこれに参画できるということです。西ロータリークラブ全体で取り組める事業としてこれをとり行いたいと思っております。

二つ目は地区財団の補助事業として、先ほどお話がありました50周年の事業で行いました植松勉さんの「思い招くロケット教室」、これを地区財団の補助事業として3年間継続して行って参りたいと思っております。

そして三つ目には継続事業であります「西ロータリークラブ会長杯フットサル大会」、これは増井委員長の時から始まったのですがコロナで途中で中止になったりと紆余曲折があり、奥会長よりこれは継続してやりましょう!という決断を頂きましたので継続してやっていきたいと思っております。今日はこのうち新しい事業である使用済み切手収集活動、収集寄付活動についてご説明したいと思います。これは日本キリスト教海外医療協力会という団体の事業に協力をする事です。この団体は日本で初めてこの古切手収集活動を行ってそれを資金にして活動をしているところでございます。このジェーオーシーエスはいったいどういう団体なの?ということですが、これは日中戦争の時に日本人牧師が医師や看護師等を集めて現地で奉仕活動、医療活動を行ったということに端を発しています。戦後、その人たちを含めた医療従事者が日本各地から集まって日本キリスト者医科連盟というのを作ってそれがこのジェーオーシーエスにつながっているという団体であります。この団体の奉仕活動に古切手を集めて協力をしようという事です。

では一体、その古切手で何が出来るの?ということですが世界中には色々な人がいて古切手を集めている人、古切手の消印に価値を求める人、古切手を集めてそれをモチーフにして色々なものを作ったりする人など色々な人がいて、そういう人たちに利用価値があつて古切手を集めたらそれをお金に換金をして奉仕活動に役立てるということになります。例えば5000枚でタンザニアでは約1年分の看護学校の教科書代になり、22,000枚でウガンダでの助産師学校の1か月の学費になります。8万枚でバングラデシュでは理学療法の技術や技量を学ぶ研修費用になります。仮にうちのクラブで一人が1千枚、8万枚を集めたらバングラデシュで理学療法を学ぶ若者のそうした研修費用につながるという事です。

では一体どういう流れでこれは行われるのかというと、うちのクラブで使用済み切手を集めてそれをジェーオーシーエスに送るとそれが仕分けをされてコレクターに売り渡されて、それが換金されワーカーの派遣、例えば医療

従事者を発展途上国へ派遣するとか、奨学金事業とか現地での色々な協業プロジェクトとか、そういうものに役立てられるという事です。実際にどうやるのかと言いますと、お手元にプリントがありますからそれを自社の総務経理の方に渡してぜひご協力をいただきたいと思っております。まず、切手は1センチぐらいの余白を残して切っていただきます。裏に何か紙がくっついているのは切っていただきます。破れたもの、折れたもの、汚れたもの、こういうものは排除してください。基本的には切手の種類で区別することはないのですが外国切手があったらそれは日本の切手と分別してください。、使用済み切手を来年の3月ぐらいまでを目途に集めたいと思っております。来週からは熊切君の制作時間3時間ほどかけた切手回収BOXが出てきますのでよろしくお願いたします。まず第一に、この使用済み切手回収運動に皆さんにぜひご協力をいただきたいと思っております。

次に、植松努さんの「思いは招くロケット教室」でございます。これは、皆さんもご存知だと思いますが赤平で町工場をやっている植松さんは、色々な人との出会いの中でロケット開発をやるまでに至ったという方で、そうした自分の経歴をもとに「思い続ければ必ず夢は実現するんだよ」というお話です。物事を諦めちゃいけないよと、誰でもやっぱり夢を持っていると、それをもちつづけることが夢に近づく唯一の手段で諦めてはいけませんよと。どうせ無理という言葉がそういう夢を小さくさせていくことなんだよと訴えかけています。この考え方に基づいてこのロケット教室は行われます。本年は9月22日、来週になりますけれども帯広花園小学校の創立40周年記念事業の一つとして取り組んでいただけることになっております。5年生、6年生約60人ぐらいですけれどもこの子供達を対象に行っていきます。当クラブでは地区財団の補助事業として認定されましたのでこれから3年間これを継続してやっていきます。

では、このロケット教室はどんな事をやってるの?ということですが昨年10月18日に創立50周年記念事業でロケット教室を帯広小学校で行っています。これも5、6年生対象に60名ぐらいで行っておりますのでこれを紹介したいと思っております。まず冒頭で小谷会長にご挨拶を頂きました。小谷会長の話が正直、抜群で本当にいいお話をされました。いろいろな困難があつたんだけど小谷さんが医師になるという夢をあきらめないで頑張つてやってきたおかげで今の自分があるんだよと。だから児童の皆さんもこのことを忘れないで、ぜひ皆さんが今持っている夢を大事に育ててくださいと。自分の体験と照らし合わせていいお話をさせていただきました。その後、植松さんの講演がございまして。これがだいたい一時間ぐらいやります。非常に子どもにもわかりやすいお話で、笑いや途中であつたりと子供たちも熱心に聴いていました。その次にロケットを制作いたします。これがロケットキットです。これは、そんなに凄い物ではなくてアマゾンでも簡単に買えるそうです。そういう簡易キットであります。これを一時間ぐらいかけてみんなで作っていきます。まず、最初に植松さんからロケットを作るにあたっての留意点の説明があります。なるべくあまり子供達に手を掛けず、自分の創意工夫で設計図を見ながら作ってもらうということで自主性を重んじて進めていきます。その間に植松さんとスタッフが回って「これどうしたらいいの?」ということについてはアドバイスをしますが、基本的には自分の力で作ってみようよ、ということになります。子供たちには興味を持ってワイワイガヤガヤしながらロケットを作つて頂きました。このロケットですがだいたい20分位あれば作れます。その後このロケットに自分の夢や自分の希望をデザインした自由な絵を書きます。その後グラウンドに出てロケットの発射をいたします。たぶん地上50m



ぐらいは上に上がっていくんじゃないかと思います。いいえ、30mぐらいですかね。話は大きい方が面白いですから。上にあがっていると距離感がよくわかりません。パーンと飛んでって上に行った時にパラシュートが開いてひらひらと落ちて子供たちがそれを回収するためにめがけて走って行きます。発射台は二台あって二つずつ発射する。子供たちが作ったロケットを順番に発射するという段取りになっています。これが堂々と結構迫力がああります。飛ぶ都度に子供たちの大きな歓声があがり結構盛り上がります。帯広小学校には障害者学級もありますので障害者の方も先生の手伝いを受けながらご参加をいただきました。最後に植松さんから総括としてお話を頂きます。失敗する子供もいます。パラシュートが開かなかったりうまく回収できなかったり。でも、成功するとか失敗するとかはあまり関係なくて、どっちにも理由があるのだからその事が

ら何かを学ばばいいんだよ、というお話をされていました。児童会長から植松さんへお礼の言葉があって、そして最後に怪しい赤いネクタイをしたおじさん(佐藤創立50周年実行委員長)に総括ということでまとめをしていただきました。こういう形式でほしい3時間ぐらいのスケジュールでロケット教室を行ないます。たかが60人でありませう。60人の子供達にこの事を教えて3年間で180人の子供達だけですが、ひょっとすると180人の中からロケット開発を志す子供とか未来になにか夢を持つ子供達が育ってくればこの事業は大きな意味を持つのではないかと思います。ぜひ興味のある方は9月22日午前9時から花園小学校でロケット教室を実施いたしますのでご参加をいただきたいと思います。ご清聴をいただき大変ありがとうございました。

**本年度の委員会活動 3つのACTIVITY**

- ACTIVITY 1 市内で最大規模の大会 使用済み切手収集寄付
- ACTIVITY 2 市内最大規模 植松努「思いは招く」ロケット教室
- ACTIVITY 3 市内最大規模 西ロータリークラブ会長杯フットサル大会

**あなたの切手でできること**

約5,000枚	約22,000枚	約80,000枚
ワンコイン	ワンコイン	ワンコイン
約1年分の帯広市の 教科書代に相当 します	約1年分の帯広市の 教科書代に相当 します	約1年分の帯広市の 教科書代に相当 します

**創立50周年記念事業 帯広小学校「ロケット教室」**  
令和3年10月18日 5-6年生対象に実施

**植松努「思いは招く」ロケット教室**

植松努氏 講演内容：帯広市立花園小学校 50周年記念事業「思いは招く」ロケット教室  
講演内容：帯広市立花園小学校 50周年記念事業「思いは招く」ロケット教室  
講演内容：帯広市立花園小学校 50周年記念事業「思いは招く」ロケット教室




◎帯広市立花園小学校・創立40周年記念事業「ロケット教室」

令和4年9月22日(木)に花園小学校において地区財団補助事業として社会奉仕委員会主催による植松努「思いは招く」ロケット教室が5年生・6年生を対象に開催されました。植松氏の講演を聞き、その後ロケットを作成して校庭で実際に打ち上げを行いました。子供達は眼を輝かせて真剣に取り組んでいました。社会奉仕委員会をはじめ、ご尽力を頂きました会員の皆様におかれましては本当にお疲れ様でした。

